

## 法人本部

社会福祉法改正により社会福祉法人に一層の役割が期待されることとなった。期待に応える法人として、2020年以降を見据えて法人全体の機能の整備を進めていく。

安定した職員確保が課題であるが、学生や職員の地元志向に応える新人事制度がスタートし、新卒採用の増加や勤続年数の延伸への効果が期待される。多様な人材の活用とともに、キャリアパスや職員の健康増進など長期に働ける環境整備にも取り組んでいく。情報システムの戦略的な整備や法人の新たな組織体制の研究・検討などにより、成長を続けられる仕組みを創っていく。経営の基盤を支えるキャッシュ・フロー経営の定着とコンプライアンスの強化を継続して進めていく。また、各事業部による地域における公益的な活動を積極的に広報し、社会福祉法人として聖隷の価値を高めていく。

法人本部では次の項目を2018年度重点目標として掲げる。

1. 多様な人材の活躍
2. 働きがいのある組織へ
3. 社会福祉法人の使命を追求
4. 安定経営と先駆的取組み

各部署は、次の年度事業目標（重点施策）を策定する。

### 【各部署の年度事業目標】

#### [総務部]

1. 育児・介護・病気に関する両立支援制度の充実
2. 非正規雇用者（パート・アルバイト職員など）等における処遇・待遇の検証及び改善に向けた検討
3. 健康管理業務の推進と体制整備の検討
4. 働き方改革（長時間労働の是正・定年延長の検討）の推進
5. 仕事の評価と処遇のあり方に関する検討
6. 医師等専門職の働き方及び処遇の検討
7. 地域における公益的な取組等の適切かつ積極的な情報開示
8. 法人本部 BCP のより実効性のある改訂と各施設への ANPIC 導入推進
9. 定型業務の効率化による事務専門業務の高度化を目指した体制構築の検討
10. ICT 等の活用による業務の省力化とペーパーレス化による省資源化の推進

#### [人事企画部]

1. 新人事制度にともなう運用変更を円滑に行う

2. 60歳以上の雇用の形態について検討を実施する
3. 地域採用・地区採用の運用を確立し、地域で人材を確保するための仕組みを強化する
4. 多様な働き方への対応と処遇の見直しを検討する
5. 多様な人材が能力を生かし、活躍することができる人材育成体制を構築する
6. 外国人介護人材の採用・育成スキームを構築する
7. 初任者研修を介護職の資格取得の入口として位置づけ実務者研修へ繋げる
8. 介護福祉士国家試験受験者の受験ニーズに応じた実務者研修を企画運営する
9. 喀痰吸引等研修の質の向上と指導看護師の研修を行う
10. その他外部研修事業の実施

#### [財務部]

1. キャッシュ・フロー経営の推進
2. 事業団経営管理機能の強化
3. 経営視点を持った経理職員の育成
4. 財務部門における生産性・効率性向上に向けた取り組み
5. 外部環境も含めた将来に対する検討、対策
6. 接客力の向上

#### [総合企画室]

1. 事業部制と本部機能など新たな組織の在り方の研究・検討
2. 中期事業計画 2016-2020 の達成に向けた中間振り返りと進捗確認および支援
3. 事業部、関連法人の経営改善支援
4. 経営陣のシンクタンク機能として、制度や法改正の情報収集
5. 戦略的な広報の展開

#### [総合情報システム部]

1. 聖隷情報部門の技術力向上と多様な人材の確保
2. 働き方改革を支援する情報基盤の構築と情報システム部門の組織力強化
3. 事業継続を実現する情報システムと地域連携のための環境整備
4. 経営に寄与する情報活用と質の高いサービス提供を支援するシステムの構築

#### [監査室]

1. リスクベースによる内部監査実現のための具体的準備
2. 内部監査の効率的・効果的な実施
3. コンプライアンス経営への側面支援